

平成筑豊鉄道安全報告書

2006年度版



この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態をまとめたものです。

1. お客さまはじめ地元の皆様へ

日頃から平成筑豊鉄道をご利用頂き、誠に有難うございます。当社は「すべてはお客さまの為に、をスローガンに掲げ安全がすべての基本であることを念頭に、運行しております。本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組や安全の実態について、広くご理解いただくために公表するものです。今後とも、ご支援、ご協力のほどをよろしくお願い致します。

平成筑豊鉄道(株) 社長 伊藤 信勝

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は安全輸送の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、全社員に周知・徹底しています。

輸送の生命は安全の確保である
規程の遵守は安全の基礎である
執務の厳正は安全の要件である

(2) 安全目標

(2006年～2010年の5ヵ年計画)

区分	項目	内容
定量的な目標	・列車事故 (衝突・脱線・火災)	重大事故を起こさない
	・乗客の死亡事故	乗客の死亡事故を起こさない
	・踏切障害事故	踏切故障による人身事故を起こさない

3. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 設備改善計画

項目	18年度	19年度	20年度
車両更新	3両	3両	5両(予定)
踏切保安設備	警報機増設等 (安全対策)設備更新	危険踏切安全対策 設備更新	危険踏切安全対策 設備更新
通信保安設備更新			無線設備更新
レール交換	田川線 985m	田川線 385m	田川線 315m
橋梁改修	今川橋梁 嘉麻川橋梁	今川橋梁	嘉麻川橋梁
トンネル改修			第1石坂トンネル

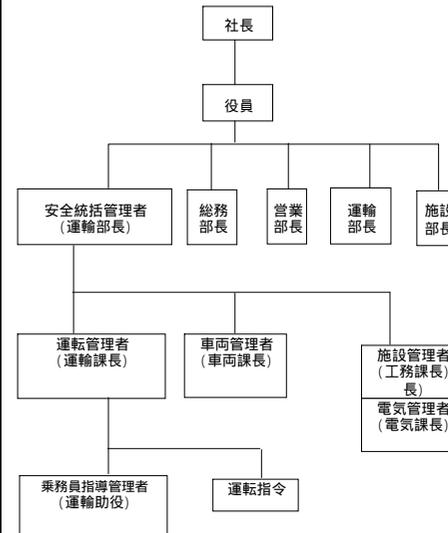
(2) 安全重点施策

安全設備の拡充整備を重点施策として下記の取組みを実施中です。全てがワンマン列車であるため、お客さま乗降時のドア取扱いや踏切障害事故防止に特に重点を置いています。

区分	安全重点施策の内容	達成期日
車両設備	・乗降ドアチャイムの導入 ・車内ミラー改良	2009年
踏切障害事故予防	・ハライトの設置	2006年
ATS改良	・ATSの追加(誤出発防止)	2008年

4. 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にした上で、安全確保に努めています。



役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者 (運輸部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する
運転管理者 (運輸課長)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する
車両管理者 (車両課長)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する
施設管理者 (工務課長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設(電気関係を除く)に関する事項を統括する
電気管理者 (電気課長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設の電気に関する事項を統括する

5. 事故等の発生状況とその再発防止処置

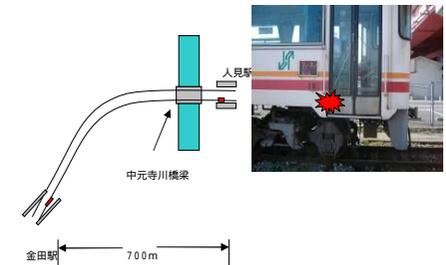
(1) 鉄道運転事故発生件数

年度	2002	2003	2004	2005	2006
列車事故	0	0	0	0	0
人身傷害事故	0	0	0	0	1
踏切障害事故	0	0	0	0	1

(2) 鉄道運転事故

(ア) 事故の概要

平成18年12月6日、直方発行橋行き列車(ワンマン1両 編成)が人見駅から金田駅までの約700mを、お客さまが車外手すりにつかまり後ろドアにつま先が挟まった状態で行き、怪我を負わせる事故が発生しました。



(イ)原因

・今回の事故は、乗務員が見駅を発車する際、後ドア付近を十分に確認しないまま、列車を発進させたために発生した事故です。

(ウ)再発防止対策

- ・安全指導教育の実施
- ・乗務員作業標準の着発時ドアスイッチ手順を具体化した取扱の改定
- ・車両設備改善
- ・駅設備改善
- ・マナー指導員による駆け込み防止の啓発

(3)災害(地震や暴風雨、豪雪など)

2006年6月 豪雨により、田川線の盛土の一部が崩れました。応急処置を行い、路盤が安定するまで10ヶ月間徐行運転を行いました。



(4)その他

2006年12月 田川線電子閉そく運行表示装置に回線不良が発生し制御不能となりました。調査したところ電子閉そく装置通信ケーブルが数箇所に渡り切断されなくなり、復旧作業に8時間を要しました。



(5)インシデント(事故の兆候)

2006年度は3件のインシデントがありました。3件とも施設障害に関するインシデントであり、事故原因を分析して改善対策を実施しました。

閉そく違反	信号違反	本線逸走	工事違反	車両脱線
0	0	0	0	0
施設障害	車両障害	危険物漏れ	その他	
3	0	0	0	

6. 行政指導

2006年度は、踏切障害事故により九州運輸局から注意指導を受け再発防止対策に取り組んでいます。

7. 安全教育

(1)人材訓練

当社では安全、安定輸送を継続していくため、各担当者の技能が低下しないよう教育委員会を設置し、運輸・車両・工務・電気・営業・総務で年間教育計画を立て、人材教育を行っています。



(2)異常時訓練

設備故障の早期復旧や、スムーズな運転取扱いを行うための訓練を、毎年行なう計画です。

8. 地元の皆さまへのお願い

(1)「踏切事故にご注意下さい」

当社の営業線区には64箇所の遮断機付きの踏切があります。踏切内に自動車が開き止められた場合は、直ちに非常ボタンを押すか、多くの遮断機では、自動車で押すことにより遮断桿は斜め45度に開きますのでそのまま自動車で押して下さい。安全運転に心がけて下さい。

	非常ボタン設置
伊田線	
糸田線	×
田川線	(一部のみ)



(2)こども110番

平成筑豊鉄道では、地域の子供達を守るため全社員で「こども110番」運動に取り組んでいます。

「こども110番」のステッカーを見て、こどもが助けを求めてきた場合は社員が保護し、こどもに代わって110番通報を行うなどの対応をします。

(3)乗車マナーについて

駆け込み乗車は大変危険です。過去のドア挟み事故は殆どが駆け込みによるものです。

また、ホームや車内の座り込みは他のお客さまのご迷惑となり、お客さまの足がからみ転倒する等危険があります。乗車マナーを守って下さい。

(4)マナー指導員について

平成18年10月から車内マナーの向上を図るため、警察OB2名を採用して「車内の秩序維持」、「お年寄りの手助け」、「駅ホームでの駆け込み乗車禁止」などの指導を行っています。

(5)テロ対策

車内に不審者がいたり、不審物を発見した時は、乗務員に連絡して頂くか、また車内警報ブザーを押して下さい。



9. 連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

連絡先

〒822-1201

福岡県田川郡福智町金田 1145 - 2

TEL0947 - 22 - 1000 FAX0947 - 22 - 0910

Eメール heichiku@fukuoka.email.ne.jp